

小松市地域女性活躍推進事業【小松市】

総事業費	5,500 千円
交付金額	2,750 千円

地域の実情と課題

○市内には転勤を伴う事業所が多く、また、新型コロナウイルスの感染拡大により、育児中の女性や高齢者等は外出の機会が減り、地域の人との交流の機会が減っている。

目的・目標

○地域コミュニティとの接点が少なく、不安を抱えている女性が、地域とのつながりをもてるような居場所づくり、不安感や困り事等を相談しやすい体制づくりを進める。
年間相談件数 目標 100件

事業の特徴

- 居場所づくり
地域とのつながりができるよう、また、寄り添いながら支援するための居場所づくりを行った。多くの女性に気軽に立ち寄ってもらえるよう、積極的にイベントを開催、内容についてより関心が高いものとなるようテーマ選びを工夫して実施した。
- 相談窓口
相談内容に応じて、保健師、助産師、社会福祉士、薬剤師、臨床心理士が対応。面談方式のほか、希望によりオンラインや訪問により対応した。予約制とすることで、きめ細やかな対応を可能とした。

連携団体

子ども食堂、フードバンクを実施する民間団体、障がい者の当事者・介護者のグループ、すこやかセンター、発達支援センター、高齢者総合相談センター、ハローワーク

事業の効果

- 居場所づくりとして実施した「あったかカフェ」では、デザートや軽食を食べながらスタッフと時間を共有することでリラックスして話せる場となった。
- 「あったカフェ」や「こよみ塾」をはじめとした居場所づくりの活動から相談につながったケースが最も多く、居場所づくりと相談支援を並行することで相談しやすい体制となったといえる。
年間相談件数 実績 141件

今後の課題

○あったかカフェでは子育て層の利用が多く、存在の周知度もあがっている一方、今後は、高齢者など幅広い年齢層の女性の居場所、相談場所となり、支援を必要とする女性をより多く掘り上げることができるような工夫が必要。

事業の概要

相談窓口

女性のための相談窓口の設置

相談員は、保健師・助産師・社会福祉士・薬剤師、臨床心理士

研修会の実施・視察研修

- 相談、支援を行う人材育成のための養成研修会を実施
「傾聴・聞き書き講座」「女性の心身の健康について」



- 視察研修
神戸市・福山市

関係者連絡会の開催

- 支援員及び相談員が情報共有し、様々な悩み等をもつ女性に寄り添った相談・支援ができるよう会議を開催（随時）
- 市の関係部署が集まり、事業実施状況や今後の連携について確認（年1回）

居場所づくり

ピアサポートのための居場所づくりとして「あったかカフェ」や「こよみ塾」を実施



スープやおにぎり、スイーツなどを食べながら、同じ悩み等を共有し、孤独感を感じないような居場所づくり



子育て防災



気軽に立ち寄れるようイベントを開催
相談のきっかけにも



おさがりこうかんかい



えほんを楽しもう



参加者同士で情報交換、つながりの場に